



第52回 東京女子医大 総合診療セミナー

さまざまな疼痛から診断を明らかにできる！

東京女子医科大学 総合診療・総合内科学分野 教授

三重大学 名誉教授

竹村 洋典 (医学博士・家庭医・総合診療医・総合内科医)

早稲田大理工学部から1982年に防衛医科大に入学。1988年に防衛医科大病院等で総合臨床医学研修を開始、1991年に米国・テネシー大にて3年間、家庭医療レジデントとなり米国家庭医療専門医および米国家庭医学会フェロー取得。1995年米国・タイ王国で熱帯医学フェロー。1998年から防衛医大病院総合臨床部・助手。2001年から三重大医学部附属病院総合診療科・准教授、2006年英国ダンディー大学医学教育資格課程、2010年から三重大大学院医学系研究科家庭医療学／医学部附属病院総合診療科・教授。2018年7月より東京医科歯科大学(現東京科学大学)総合診療医学分野教授。三重大大学名誉教授。2022年1月に東京都立多摩北部医療センター総合診療科部長。2022年5月より東京女子医科大学総合診療・総合内科学分野教授。

米国家庭医療専門医・米国家庭医学会認定フェロー、日本専門医機構総合診療専門医・指導医、日本内科学会認定総合内科専門医・指導医、日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医・指導医、日本医学教育学会認定医学教育専門家。

これまで日本共用試験評価実施機構医療面接責任者、日本家庭医療学会副理事長、日本プライマリ・ケア連合学会理事、同学会誌編集委員長、国際総合診療医学会アジア太平洋支部学術誌編集長、日本専門医機構総合診療専門医検討委員会副委員長、日本混合研究学会監事、日本内科学会専門医部会関東甲信越支部長などを務めてきた。

痛み”といっても、様々な種類があります。その種類を明らかにすることで診断名を明らかにできることが少なくありません。

例えば傷害受容性疼痛の代表格である腹痛。病歴から内臓痛であれば急ぐことはないけれども、体性痛であればすぐに外科にコンサルトが必要。その際に聞き出さなくてはならないのは部位や発症の時間経過などの病歴。これをマスターすれば急性腹症は怖くはない。

一方、しびれを伴う神経障害性疼痛であれば、部位などの情報は重要。整形外科疾患が多い単神経障害(手根管症状群や帯状疱疹など)、内科的な多発単神経障害や多発神経障害(飲酒、糖尿病など)の病歴や身体診察法を知ると、診断に至るのは難しくありません。腰痛についても詳細にその部位診断方法を説明します。全身の疼痛についても甲状腺機能異常、電解質異常、筋炎、リウマチ性多発筋痛症、線維筋痛症など様々な疾患を臨床推論し、診断名をあぶりだすことができます。

さらに、これらの疼痛の各々には、各々の治療があります。これを間違えるといつまでたっても患者の満足は得られません。

疼痛の診断や治療をシステムティックに解説します。

今回の講演をお聞きになれば、疼痛の診察を楽しめるようになります。是非ともご聴講くださいませ。

対象 総合診療に興味のある医師・歯科医師・学生・コメディカル、その他どなたでも

参加費無料

Zoom開催

事前登録制

日時 **2026年10月7日(水) 19:00~20:30**

申込QRコード



参加方法 QRコードよりお申し込みください

* 読み込めない方は下記URLよりお申し込みください

* 必ずではございませんが、日本プライマリ・ケア連合学会の生涯学習単位(医師・薬剤師)が付与されます。

* お問い合わせ先：東京女子医科大学 総合診療科医局

<laboratory27.twmu@gmail.com> <03-3353-8111 内線：37312>

* ZOOM

<https://zoom.us/meeting/register/74ZwH74UQ4-mNy21LRg5Lw>

ミーティング ID: 951 5256 4162 / パスコード: 309341

* 日本プライマリ・ケア連合学会単位希望 <https://forms.gle/MasnG1qx5EAL9yXM6>

* 当セミナー評価 <https://forms.gle/z2QqmkKnJZZKPJhh6>